



平成 30 年 4 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 執行役員
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

当社子会社による中国盛世荣恩生物科技公司社との iPS 細胞作製技術に関するライセンス契約締結のお知らせ

当社の 100%子会社である株式会社 ID ファーマ（以下、「ID ファーマ」という）は、盛世荣恩生物科技公司（Shengshi Rongen Bio-tech 社、以下、「SRB」という）と、ID ファーマが所有するセンダイウイルスベクターを用いた iPS 細胞（※1）作製技術を活用し、美容を目的とする商品の開発、製造、及び販売を行う商用利用を許諾する契約を締結したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約の概要

ID ファーマは SRB に対して、同社が ID ファーマが所有するセンダイウイルスベクターを用いた iPS 細胞作製技術を活用し iPS 細胞を作製することや、それにより得られた iPS 細胞を活用して美容を目的とする商品を開発、製造、販売する商用利用について、中国を対象とする非独占的な権利を許諾しました。これにより ID ファーマは SRB から契約一時金と、商品上市後はロイヤリティを受け取ります。

2. 契約の意義

ID ファーマの iPS 細胞作製技術は細胞の染色体を傷つけることなく、かつ効率よく iPS 細胞が作製できるため、研究から臨床応用まで多種多様の iPS 細胞および分化細胞を作製するのに最適であると考えられています。

ID ファーマは、CytoTune®-iPS（※2）を活用した iPS 細胞等の作製とその利用を許諾する契約の締結を推進しており、そのような取り組みにより基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出できるものと考えております。

3. 技術実施許諾先について

技術実施許諾先の概要は次のとおりです。

会社名	盛世荣恩生物科技公司 Shengshi Rongen Bio-tech., Ltd
本社所在地	中華人民共和国上海市松江地区新州道路 518 号 17 号館 201 号室

SRB は荣恩グループ（上海盛世荣恩医疗投资管理集团股份有限公司、新三板市場証券コード：835387）の 100%子会社であり、中国上海市に拠点を置くバイオ企業です。医療・美容を中心に、美容化粧品等の研究・開発を行っています。現在、上海容恩病院、北京容恩病院、長沙容恩病院、鄭州容恩病院、広州容恩病院、上海荣荘、長沙荣荘、荣恩生命科学研究所、荣荘公益財団等のサー

ビス拠点のほかに、3万以上のサービスステーションを中国全土に展開しています。2016年1月には、医療・美容関係のグループ会社として初めて、中国北京の「新三板市場」に株式公開しました。（注：新三板市場は、日本における店頭株式市場にあたる）

4. 業績に与える影響

本契約締結による平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の業績への影響は軽微と見込んでおります。平成30年3月期決算発表時に、平成31年3月期の連結業績予想に織り込んで公表いたします。

※1. iPS細胞

induced pluripotent stem cell (人工多能性幹細胞)のことであり、体細胞に特定の遺伝子を導入することにより樹立される、ヒト等のあらゆる組織、細胞に分化する能力を持つ幹細胞のことです。

※2. iPS細胞作製キット CytoTune®-iPS

CytoTune®-iPSは、京都大学の山中伸弥教授のiPS細胞作製技術と、IDファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発したiPS細胞誘導キットであり、本キットを用いることにより、一回のベクターの使用で線維芽細胞などの体細胞からiPS細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。さらに本キットを用いて作製されたiPS細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、またiPS細胞誘導に用いたベクターが細胞から素早く消失されるよう改良されているため、国内外の研究者から高い評価を受けております。

以 上